教科	科目	単位数	学年	学科・選択等
理科	生物基礎	2	3	全学科・必履修

科目の概要	細胞、生殖と発生及び遺伝について観察実験などを通して探究し、生物体の成り立ちと種族の維持の仕組みについて理解し、生命の連続性についての見方や考え方を身につける。			
学習目標	生物や生物現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を養い、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。			
教科書	第一学習社　高等学校　新生物基礎			
副教材等	第一学習社　　ネオパルノート生物基礎			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	生物や生命現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的な態度を身につけている。	生物や生命現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして、問題を解決し、事象にもとづいて科学的に判断する。	生物や生命現象に関する観察、実験の技能を修得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につけ、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して生物や生命現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価の方法	下記の①～⑤の項目を評価し、各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断する。 ①授業への取り組み 学習態度、生物への関心等で判断する。 ②ノートへの記載内容 授業内容を適切にノート・プリントにまとめられているかを評価する。 ③観察や実験での取り組み 観察や実験中の態度、予想や考察内容、実験器具の取り扱い方、レポート等から評価する。 ④教科書や問題集の問題への取り組み 提出物を手がかりに、各問題への取り組みを評価する。 ⑤定期考査や小テスト 学習内容に合わせて問題を出題する。			
担当者より （注意事項等）	予習・復習をして生命現象について関心を持って欲しい。			

◎年間学習計画

学習内容	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
生物の特徴	○	○								
遺伝子とＤＮＡ		○	○							
遺伝子の働き			○	○						
体内環境と恒常性					○	○	○			
植生と遷移･気候とバイオーム								○		
生態系と物質循環									○	
生態系のバランスと保全									○	